

1 表彰・感謝状受賞者を受賞された皆さん
2 卓越技能者顕彰表彰を受賞された皆さん



●感謝状の部 (敬称略)

栗田 保則 (下中田)	阿部 直樹 (荒屋)	柴田 修一 (七日町)
橋間 進 (長野)	阿部 哲男 (稲沢)	柴田 敏継 (漆野)
柴田タケ子 (入有屋)	星川 恵子 (羽場)	栗田 孝子 (下中田)
藤山 猛 (稲沢)	柿崎 貞治 (田茂沢)	永山 高 (稲沢)
佐藤 幸一 (田茂沢)	柴田 廣 (入有屋)	須藤 実 (田茂沢)
今井 直俊 (十日町)	栗田 正義 (漆野)	小野 常夫 (稲沢)
斉藤 勇一 (長野)	三上 仁志 (飛森)	阿部 信広 (荒屋)
三上 裕一 (七日町)	庄司 紀一 (谷口)	加藤 勝昭 (安沢)
矢口 勝 (宮)		

●卓越技能者顕彰表彰者 (敬称略)

柴田 榮 (十日町) / 建築大工として60年尽力
 柿崎 悟 (下中田) / 建築大工として51年尽力
 西田美枝子 (羽場) / 理容師として64年尽力
 小沼きみ子 (柳原) / 美容師として49年尽力

●表彰の部 (敬称略)

柴田 清正 (入有屋) / 町議会議長の職を退職
 須藤 典夫 (田茂沢) / 町議会議員の職に12年以上在職し副議長の職を退職
 樋渡 洋子 (三枝) / 町立金山診療所経営委員として20年以上在職
 加藤 勝昭 (安沢) / 統計調査員として22年以上在職
 西田 忠一 (羽場) / 生活環境事務取扱者として22年以上在職
 碓屋 昇 (谷口) / 税務事務取扱者として22年以上在職
 柴田 久一 (柳原) / 産業事務取扱者として22年以上在職
 星川 広 (安沢) / 消防団員として30年以上在職し、消防団分団長の職を退職
 星川 正年 (安沢) / 令和2年11月に瑞宝単光章叙勲受章
 五十嵐義弘 (下向) / 令和3年4月に瑞宝単光章叙勲受章

●特別表彰の部 (敬称略)

小笠原忠太郎 (漆野) / 種雄牛として県産和牛の生産を支えた「平忠勝」の生産者

11月9日、金山町表彰・感謝状伝達式が開催され、長年にわたり町の振興に寄与され、その功績が顕著な方々に佐藤町長から表彰状・感謝状が贈られました。また、卓越した技能を持ち、後継者の育成や産業の発展に寄与された方々にも同日、表彰状が伝達されました。今後も、町政の発展にご協力をお願いいたします。

金

山町表彰・感謝状伝達式を開催
令和3年度表彰受賞者を紹介します



11月10日、須藤教育長から渡部昭仁さんに表彰状が授与された

渡部さんが表彰を受賞
長年にわたり青少年健全育成に貢献

長年にわたり、青少年の健全育成を推進したとして渡部昭仁さん(羽場)に山形県青少年育成県民会議から表彰状が贈られました。渡部さんは、平成22年から青少年育成推進員を務められ、平成30年からは、町の代表推進員に就任されて

います。現在は、最上地区青少年育成連絡協議会の副会長を務められ、町をはじめ最上地区の子どものための見守り、街頭指導、巡回パトロールなど積極的に活動されています。今後の更なる活躍を期待します。おめでとうございます。

カ

ーブミラー4基を町に寄贈
交通安全に役立ててほしいとの思いから

11月2日、金山農業協同組合並びに全国共済農業協同組合連合会山形県本部から、町にカーブミラー4基を寄贈いただきました。これは交通安全対策事業の一環として実施されているもので、平成7年から毎年寄贈いただき、合計で197基いただいております。

見通しの悪い交差点や要望のあった箇所、老朽化したカーブミラーの代替として順次設置しています。岸理事は寄贈に際し「地区内の交通安全に役立ててほしい」と話してくださいました。長年にわたり寄贈いただき、ありがとうございます。有効に活用させていただきます。



J A 金山の岸理事長、J A 共済連合会山形県本部の担当者が来庁し手渡しされた



山形県支部の白田事務局長から佐藤町長へ交付状が手渡された

災

害時の迅速な支援のため
日本赤十字社山形支部がテントを寄贈

11月12日、日本赤十字社山形県支部から、日赤金山町分区に、ワンタッチテントを寄贈いただきました。これは災害時などに、実働的かつ迅速に救護活動を展開できるように寄贈いただいたもので、従来の組立式テントと比べ軽量で、設置も簡単にできます。

交付式には、羽場地区赤十字奉仕団の方々も参加され、式後、ワンタッチテントの取り扱い方法や、感染症対策を踏まえた被災者支援として備蓄している「段ボールベッド」「避難所用簡易テント」などの説明を受け、災害時の支援救護の大切さを学びました。

未

来を担う子どもたちのため
マルコウ環境と齋苑が町に寄付

(株)マルコウ環境と(株)齋苑(ともに真室川町)から10月26日、町に30万円の寄付をいただきました。きらやか銀行の「きらやかじもと応援私募債」を活用したもので、寄付に際しマルコウ環境の齋藤哲也代表取締役社長は「SDGs達成に向け、未来を担う子どもたちのた

めに活用してほしい」と話し、齋苑の齋藤美香代表取締役は「いつもお世話になってる金山町に寄付という形で貢献したい」と話してくださいました。佐藤町長は「これからの時代の主役である子どもたちのため環境教育資金として有効活用していきたい」と述べました。



(株)齋苑の齋藤美香代表取締役(右)と(株)マルコウ環境の齋藤哲也代表取締役社長